

令和7(2025)年度河内地区社会教育主事・有資格者ステップアップ研修(宇河地区生涯学習研究会第3回研修)報告

「社会教育主事有資格者への期待～ウェルビーイングの向上に向けて～」

10月27日(月)に今年度の社会教育主事講習受講者を含めた社会教育主事有資格者を対象に、標記研修を実施しました。栃木県立真岡工業高等学校長 井上 昌幸 様に御講演いただき、参加者は教育におけるウェルビーイングの捉え方、社会教育主事有資格者として活動状況を振り返る方法、社会教育主事有資格者として取組を見直す視点などについて学びました。

「教育」でのウェルビーイングの捉え方として、教育振興基本計画が目指す、日本発・日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上についてお話しいただき、参加者は社会教育の現状と今後の方向性について理解を深めることができました。また、チェックリストによる日頃の活動の振り返りを実施することで、自分が頑張れていることや、これから力を入れていかなければならないことが具体的に分かりました。連携の目標(何のためにやるか)を明確にしているか、地域づくりにつながる展開となっているか、幅広い住民が参画しているか、という社会教育の視点から取組を見る際のポイントを示していただき、社会教育主事有資格者として活動を見直すことができるようになりました。

参加者は講演を聴き、活動に関わる全ての人々のウェルビーイングの向上に向け、社会教育主事有資格者としての役割を自覚するとともに、それぞれの立場でその役割を果たそうとする意識を高める機会となりました。



◆◇令和7年度社会教育主事講習を終えて◆◇

今年度、社会教育主事講習を修了された12名の皆さんを紹介します。皆さんに講習を振り返っていただき、感想をいただきました。12名の皆さんの今後の御活躍を期待しています！！



宇都宮市立細谷小学校

関 直也 教諭

本講習を経て、視野が大きく広がるとともに、「つながり」を強く意識させられました。児童とのつながり、地域とのつながり…身近なつながりを大切にして学校を核に地域づくりを進めていけたらと思いました。来年度も講習を受けて学びたい…と思うぐらい充実したものとなりました。



宇都宮市立清原北小学校

加藤 有紗 教諭

今回の講習を通して、学校内だけにとどまらず、日々の生活の中にある学びや人とのつながりの大切さについて、改めて考えることができました。今後は、これまで以上に、学校や地域の強みを生かしながら、多くの人たちと「つながり」のある教育活動に取り組んでいきたいと思います。



宇都宮市立横川東小学校

梅岡 秀彦 教諭

社会教育主事講習を通して、「正解は一つではない」「人と人をつなぐ学び」など、学びの多様性とつながりの大切さを実感しました。学校と地域をつなぐ立場にあることを自覚し、今後の授業や活動の中で、地域の方との協働や学びの循環を意識していきたいと思います。



宇都宮市立海道小学校

大武 真里 教諭

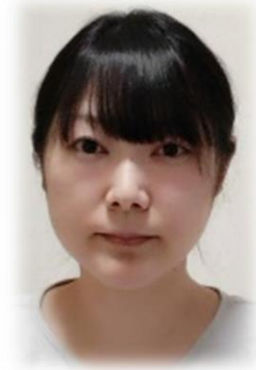
講習を通して、人とのつながりの温かさ・大切さを感じました。また「自分の頭で考える」ことの重要性も痛感しました。正解が一つではない社会を生き抜く力を育むため、学校現場における繋がりのお機会を活かし、自ら考え判断できる子どもたちを育てていきたいと思います。



宇都宮市立国本中学校

塩澤 美帆 教諭

今回の講習を通して、「学び合い」とは何かを深く考えることができました。生徒たちは、様々なつながりの中で、学ぶ楽しさを見出しています。今学校に求められているのは、この「つながり」づくりです。地域とともにある学校を目指し、生徒たちの可能性を伸ばしていきたいと思います。



宇都宮市立城山中学校

手塚 誠仁 教諭

私はこれまで「地域」について、あまり意識することがありませんでした。今回の講習を通して、地域の果たす役割や学校との関わりなど、様々なことを学ぶことができました。今後も一人の教員として、学校、生徒、教員が地域とどのように関わっていけるのかを考えていきたいです。



上三川町立上三川中学校

尾崎 歩美 教諭

今回の講習を受講する中で、「こんなことも社会教育なんだ。」と今まで見てきたものがまた違った視点で見えてくると同時に、地域の学びを支える意義と人とのつながりの大切さを実感することができました。

本講習で得た社会教育の良さを少しずつ広めていきたいと思います。



栃木県立宇都宮東高等学校

廣川 晴香 教諭

教育は社会全体で生涯行うものであるということを再認識し、視野が広がり、明るい未来を感じることができました。さまざまな人とつながり、さまざまな経験を通して学び続けることは全ての人にとって大切なことです。

この講習で得たことを生かして、人々の学びを支援していきたいと思います。



栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校 宇賀神 一志 教諭

社会教育主事講習を受講する前の私は、『社会教育』とは？から始まりました。ところが、一日目の廣瀬先生の講義で、「社会のあらゆる場面で社会教育は存在する」と話されたことに驚きました。今後は、様々な視点で物事を考えることのできる、「自分の頭で考える」ことを大切にしていきたいと思います。



栃木県立富屋特別支援学校

稲見 隆典 教諭

今回の講習を通して、学校は地域とどのように関わっていくべきなのかを、グループワークを行うことで深く考えることができました。そして、人と人との「つながり」が重要であるということを再認識することができました。これからもこの講習仲間と一緒に成長していきたいと思います。



栃木県立岡本特別支援学校

金子 和広 教諭

今回の講習を通じ、社会教育が地域社会に深く根ざしていることを学びました。こうした地域資源を上手に活用するかが、社会教育士としての力量を問われる場面であると考えています。俯瞰的な視野を持ち、地域とのつながりを大切にしながら、学校や地域に貢献していきたいです。



宇都宮市立田原小学校 中里 雅代 地域学校活動協働推進員

生涯学習に関わるようになって十数年。モヤッとしていたものが少しずつ晴れていくのを実感した時間でした。ようやくスタート地点に立てました。人との関わりに感謝し、終わりのなき学びに喜びを抱きながら、自分の頭で考え、仲間と共に楽しく励みたいと思います。地域に根差して。

